

1) 設計方針（設計上のねらい、独創性などを約500字以内で）

若いご夫婦と子供二人の4人で住もう家です。○○市の高台にあり、南側に海を望み、北側には雑木林がある、四季折々の景観が楽しめる立地です。敷地北側で4m道路と接道し、南側は海岸に向かって法面を構成しています。余裕のある土地スペースを活かし、低いシルエットとシンプルなフォルムの平屋建としました。設計に際しては、海に向かう南側に開放される「コの字」型の建物とし、家族の私的な空間創設に留意しました。建物中央に配置したLDKには、全開放型の大型テラス戸を介してエクステリアに広めのウッドデッキ（32㎡）を接続し、「友人と家族が集まれるプライベートな空間が欲しい」とのお施主様の希望を取り入れています。

構造的には、屋根勾配を2.0寸と緩勾配とし、建物南側の軒を長く（1200mm）取った時の高さ方向の視界を確保、同時に日射遮蔽と壁面への雨がかりに配慮しています。外壁にはシーリングレスサイディングを採用し、耐久性能の向上とメンテナンス経費の削減を図りました。また、断熱等級はHEAT20 G2（6地域）を上回る性能を実現、全館空調と併せてエネルギー削減に貢献しながら快適な暮らしを目指しました。

2) 住宅性能

a. 耐久性能の向上に向けた工夫

劣化対策等級	3	※等級取得が無い場合は下記にその理由を明記
構造材（1階以外）	通気／換気役物による結露防止	
屋根	透湿ルーフィング＋通気立平（ガルバリウム鋼板）	
外壁	シーリングレスあいじゃくりサイディング	
金物類（主に構造用）	デュラルコート処理	
防水設計	日本住宅保証機構「住宅防水マニュアル」に準拠	
透湿、通気設計	可変透湿シートを使用。胴縁は18mm	

b. 耐震性能の向上に向けた工夫

耐震等級	3	※等級取得が無い場合は下記にその理由を明記
耐震設計のポイント	許容応力度計算にて計算	

c. 耐風性能の向上に向けた工夫

耐風等級	2	※等級取得が無い場合は下記にその理由を明記
耐風設計のポイント	1、構造計算による 2、開口部のシャッター設置	

d. 省エネ性能の向上に向けた工夫

地域区分	5地域	
断熱等級	6	※等級取得が無い場合は下記にその理由を明記
一次エネルギー消費量等級	5	※等級取得が無い場合は下記にその理由を明記
省エネ設計	※計算数値の取得が無い場合は下記にその理由を明記	
	Ua 値（外皮平均熱貫流率）	0.46
	ηa 値（平均日射熱取得率）	0.81
	C 値（相当隙間面積）	0.5

e. 維持・保守性能の向上に向けた工夫

維持管理計画	住宅履歴情報の整備
維持・保守設計	日常点検の必要性・効果を住まい手に説明 半年、1年、2年、5年、10年の定期点検を提供 定期点検の情報を、住まい手に提供

3) 環境性能・サーク્યラーデザイン

a. 環境性能

国産無垢材の利用率（構造材）	50%以上
国産無垢材の利用率（羽柄材）	50%以上
国産無垢材の利用率（内装材）	50%以上
環境配慮型商品の採用	太陽光発電設備、オール電化などの省エネ設備、自然冷媒ヒートポンプ給湯器

b. サーク્યラーデザインに向けた工夫

新築時の高耐久性(HG、デュラルコート金物以外)製品の採用

高耐久透湿防水シート(タイベックシルバー)、屋根材に瓦材を採用

間取りやライフスタイルに合わせた可変性への工夫

可動間仕切り、水回り配管の露出設計

点検のしやすさ、設備等の交換のしやすさの配慮

ヘッダー式配管、配線胴縁の採用、換気フィルターの交換が容易な設計

新築設計時に廃棄シナリオを計画しているかの工夫

再生可能な商材(商品名：)で再利用の促進、異種素材が分別できる設計

c. その他(木材製品のインテリアへの採用、オリジナル材料・仕様など)

・居室は天井を杉板張り、室内床は前面に杉無垢材フローリング、建て具扉にも杉無垢板製品を採用、部屋内のパーテーションにも千本格子の木製品を用いました。室内壁面仕上げを漆喰仕上げとすることで併せて、調湿、残響音の軽減、そして落ち着ける空間としています。

・子供部屋の木製パーテーションはふたりの子供が小さい今はおもちゃなどの収納仕切りとして使い、そして子供たちの成長すれば兄妹の部屋を区切ったりできるように可変設計を採用しています。